



最新の情報は
区のホームページで
ご確認ください

大地震が

起きたら、こんなことがあるかも？

電気・ガス・水道などのライフラインの被害や物資の流通の停滞が想定されます。
生活に必要なものが使えない、そんなことが起きてしまうかもしれません。事前の備えが重要です。

☎災害対策課 ☎03-5432-2262 FAX 03-5432-3014

食べるもの、飲むものがない！

トイレが使えない！

停電で充電ができない！

必要な準備について詳しくは2面をご覧ください

column

避難所に行かない避難 — 「在宅避難」について考える

関東大震災から103年目を迎えました。7月28日には、最大震度7の揺れを記録した令和8年熊本地震が発生し、区も「令和8年熊本地震災害支援金」を呼びかけ、被災自治体へのご寄附の協力を募っています。

区内の小中学校等の避難所は、96か所と限られています。地震があっても自宅に大きな被害がなく、安全に過ごすことで

きる環境があれば、「在宅避難」も、推奨できる有力な選択肢です。

そのためには、最低3日分、できれば1週間分の水や食料備蓄は、在宅避難のための大切な土台になります。災害用トイレやラジオ、常備薬や衛生用品など、避難生活に必要なものを確認しておきましょう。区内の被災情報は、「防災ポータル」やエフ

エム世田谷(83.4MHz)で発信しています。

マンションなどの集合住宅では「在宅避難」を想定した防災訓練も役に立ちます。防災の日は、自分や家族の安全を守るだけでなく、地域全体の安心について考える機会でもあります。日頃の備えを見直すことから、その一歩を始めてみてはいかがでしょうか。



世田谷区長のぶと
保坂 展人